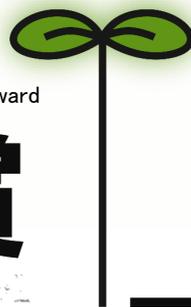


第38回 高知市

# 都市美 デザイン賞

Kochi City  
Scenery Design Award



こころ豊かな景観を創り出すために

## 令和4年度選考結果

都市美とは・・・

「都市美」というと、造形的に美しい街並みを想像しがちですが、私たちの心に豊かさを与えてくれる自然、人の心づかいとふれあいのある風景も「まちの美しさ」のひとつではないでしょうか。

建築物、街並み、みどりや水辺などの自然環境と歴史、文化、優しさ、親しみなどの快適さを地域に調和させて美しく親しまれる都市景観、個性的で魅力ある都市空間を「都市美」と定義し、それを創造し、再生し、守っていきたいと考えています。

### ～選考を終えて～

今年度の都市美デザイン賞は、応募総数31通であった。審査対象物件は、23件で、その内訳は一般建築部門13件、住宅建築部門9件、テーマ部門1件であった。

第一回景観審議会にて一次審査を行い、現地調査の対象とする物件の選定を行った。その後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、委員が合同で実施する現地調査は取りやめることとなり、可能な範囲で委員独自による調査を行った。第二回景観審議会での二次審査では、各委員の現地調査の所感を交えながら熱心な意見の交換により有意義な審査となった。

高知警察署は、コンクリート造の大規模な建築物であるが、石灰石や木材をアクセントとして用いた、軽快で陰影のあるリズムカルなファサードとなっている。

桂浜本浜休憩所は、月の名所の桂浜に建てられた休憩所兼展望台である。波打ち際に立つと緑豊かな丘と、その麓に建つ建物が、程よいスケール感で風景に収まっている。また、建物の屋上からは砂浜と太平洋がきれいに一望できる。

高橋邸は南北の二面を道路に接した事務所兼用住宅である。北面は、道行く人の目を楽しませる美しい庭を設け、南面は竹垣と草花を組み合わせた風の通る仕切りとなっている。成長の楽しみな住宅である。

都市美デザイン賞は、建物の大小を問わず、橋梁や公園、広告物など幅広く都市景観にかかわるものを対象としている。また、自薦他薦も問わないのでどんどん応募して欲しいと思う。

高知市景観審議会



38th Kochi City Scenery Design Award

主催/高知市

## 入賞

### 一般建築部門 高知警察署



- 建築主…高知県警察本部
- 設計者…昭和・ハウジング総合共同企業体
- 施工者…清水建設・大旺新洋特定建設工事共同企業体

高知駅の西側に建設された大規模な建築物である。ファサードを形成するコンクリート製の軽快でリズムカルなフレームが、建物全体の重量感、圧迫感を軽減し、平坦で単純になりがちなファサードに陰影をもたらしている。

1階外壁の石灰岩や、高知県産木材を使用した入口の木製サッシや板張の軒裏など、高知らしい建築としても優れている。

陰影による明暗や、コンクリート型枠による表情、セメントの色のわずかな揺らぎなど色彩も味わい深い。

電力の引き込みに広報用の塔を活用するなどの工夫も見られた。建物の1Fは道路からやや高い位置にあるが、外から見える位置にエレベータが設置され、ユニバーサルデザインにも配慮されていることが見て取れる。

## 入賞

### 一般建築部門 桂浜 本浜休憩所



- 建築主…高知市
- 設計者…株式会社 上田建築事務所
- 施工者…株式会社 トラスト建設

桂浜に新たに設けられた休憩所である。建物の前面は砂浜、背面は緑豊かな丘になっているが、その立地特性に配慮した建物の規模やデザインとなっている。例えば、砂浜や龍王岬から休憩所側を眺めたとき、建物の高さが抑えられているため、背後の緑地に囲まれた桂浜全体の空間構成を損ねることがない。建物全体の色彩が砂浜の砂の色と同系色かつ、やや明るめの明度でまとめられているため、建物の規模の割には存在感が控えめで、素晴らしい。

軒裏や庇の下のベンチには県産材の木材が用いられ、高知県らしさを表現するとともに、木材の耐久性への配慮も見られる。建物の屋上からは桂浜全体を見渡すことができ、素晴らしい眺めを提供する新たな視点場となっている。

## 入賞

### 住宅建築部門 高橋邸



- 建築主…高橋 麻矢 ・ 高橋 奈央
- 設計者…高橋設計
- 施工者…有限会社 松木建設

小規模な木造の事務所兼用住宅である。建物の南北が道路に面しており、南側には竹垣に囲まれた庭があり、竹垣に絡んだ植栽が潤いを与えている。

北側も道路に面しているが、こちらには塀が無く、ややセットバックした壁面と道路の間のわずかな空間に良く手入れされた植栽や錆び石の舗装・縁石が施されて、街並みに潤いを与えている。

建物は2階建てで、2階の壁面が1階よりもややセットバックしているため、圧迫感がなく空が広い。虫籠窓のような2階の窓も興味深い。木製のサッシと壁面の色・仕上げが落ち着いた雰囲気を出しており、今後、年月を経るごとに味わい深い建物となっていくことが期待できる。